

世界の自然と自然、 人と人をつなぐ渡り鳥

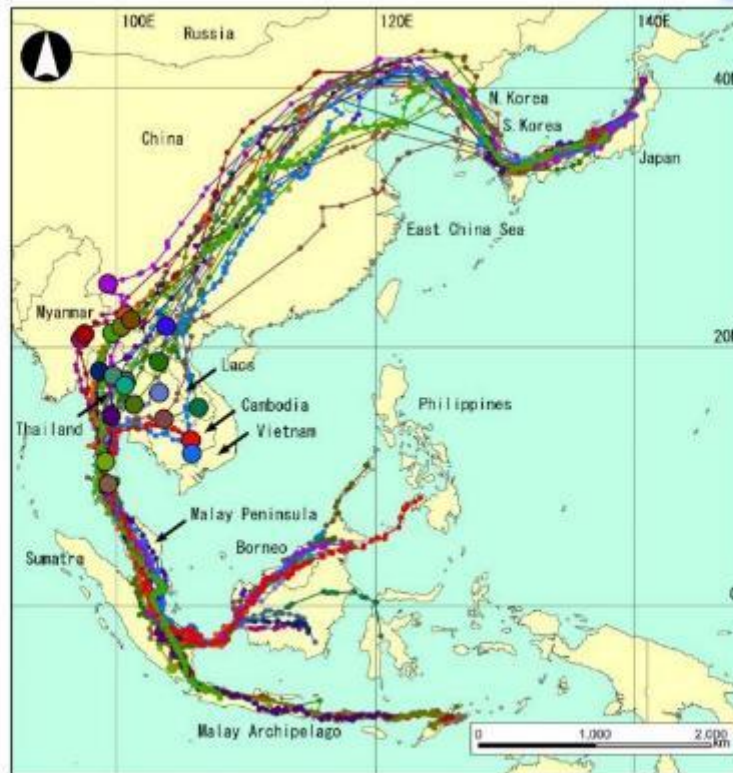
樋口 広芳

慶應義塾大学自然科学研究教育センター



ハチクマ

撮影: 中村照男



Higuchi (2012) Journal of Ornithology 153 Supplement:3-14

内 容

- 鳥の渡りを追う
- 渡り鳥の減少要因を探る
- 人と人をつなぐ渡り鳥

● 鳥の渡りを追う

人工衛星を利用した
渡り追跡、衛星追跡
の登場によって飛躍
的に進展。

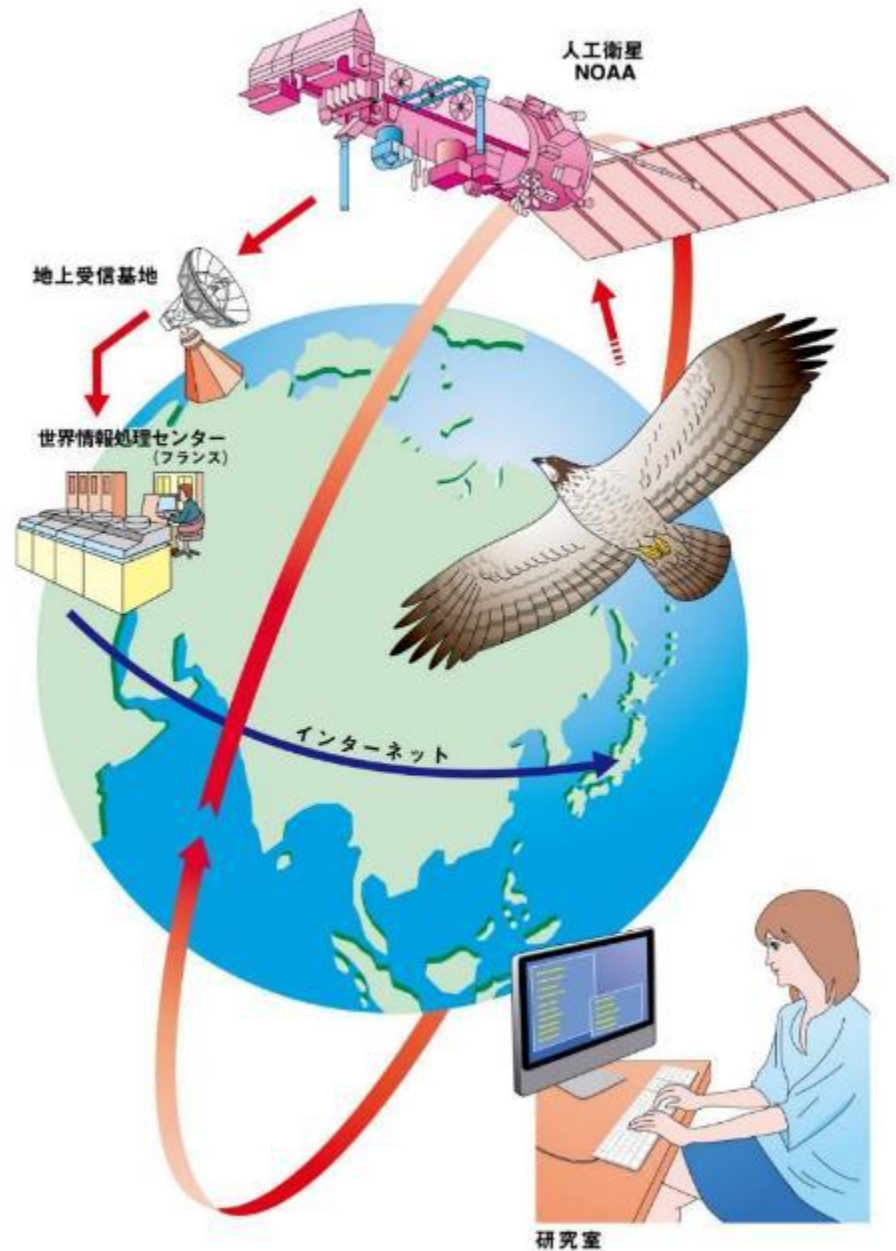
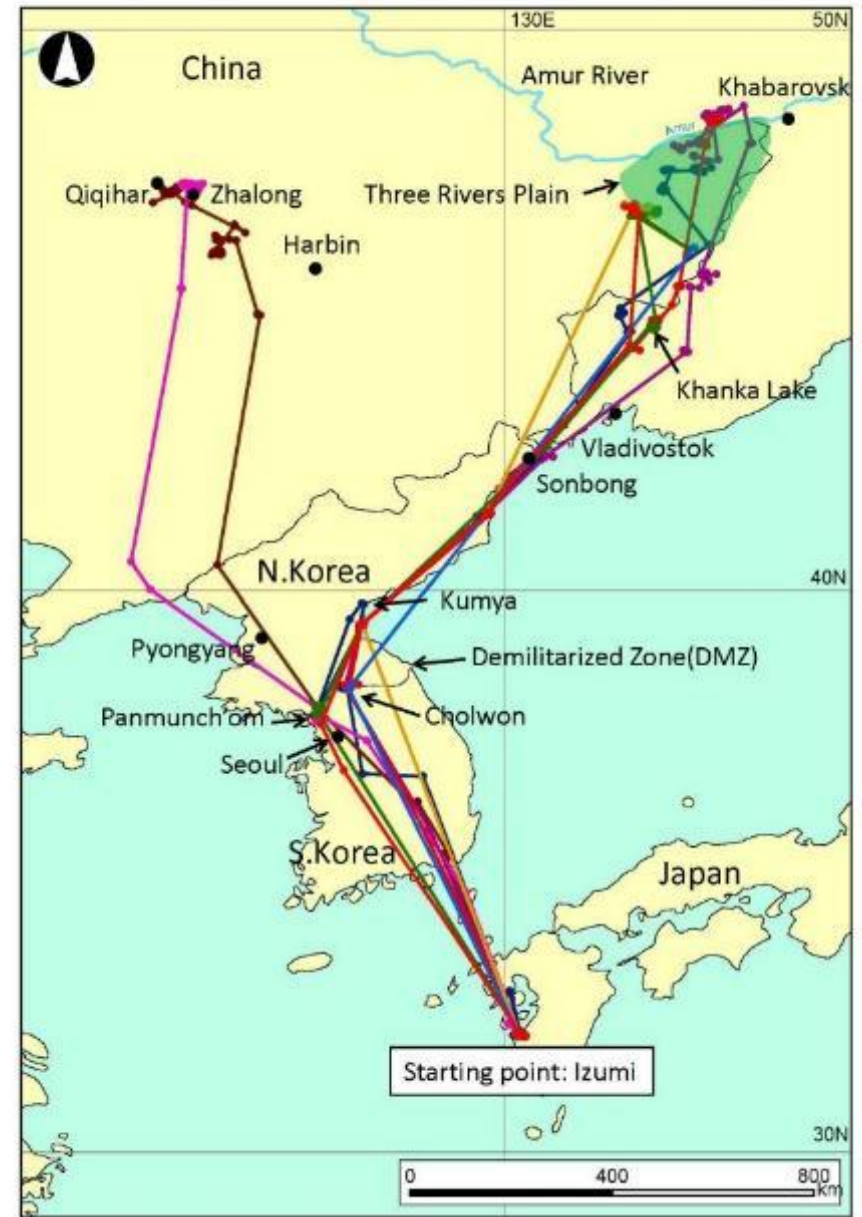
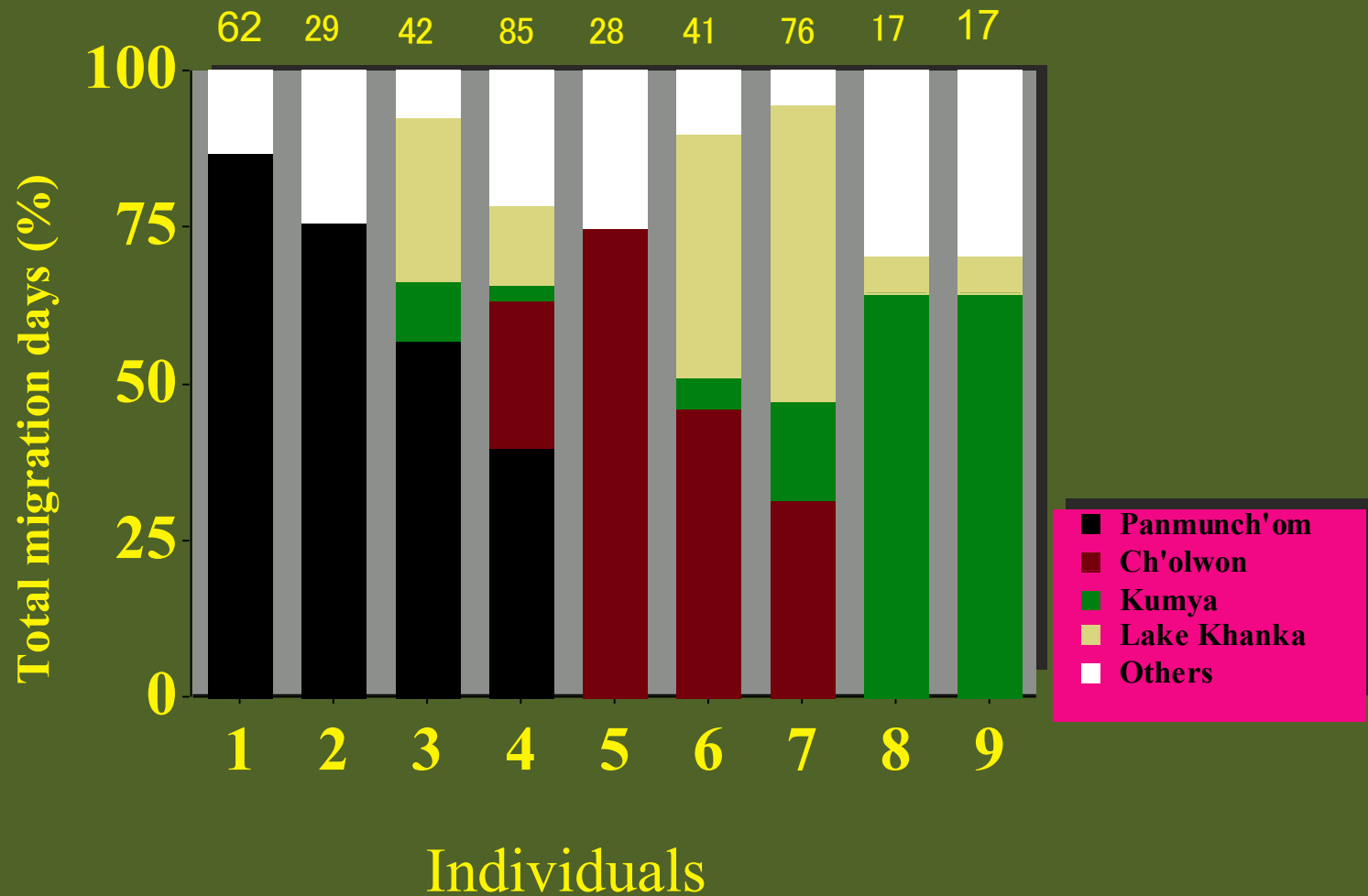


イラスト: 重原美智子

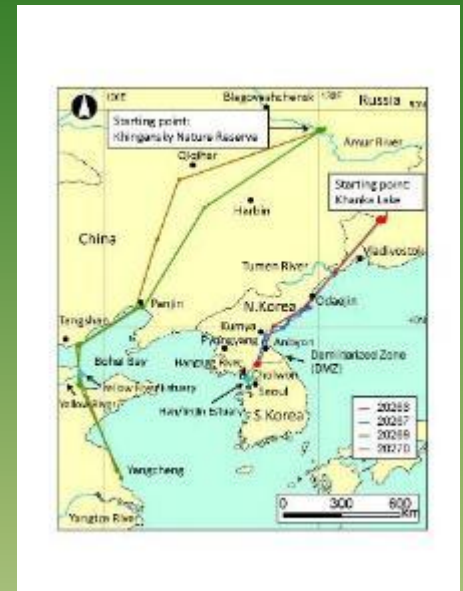
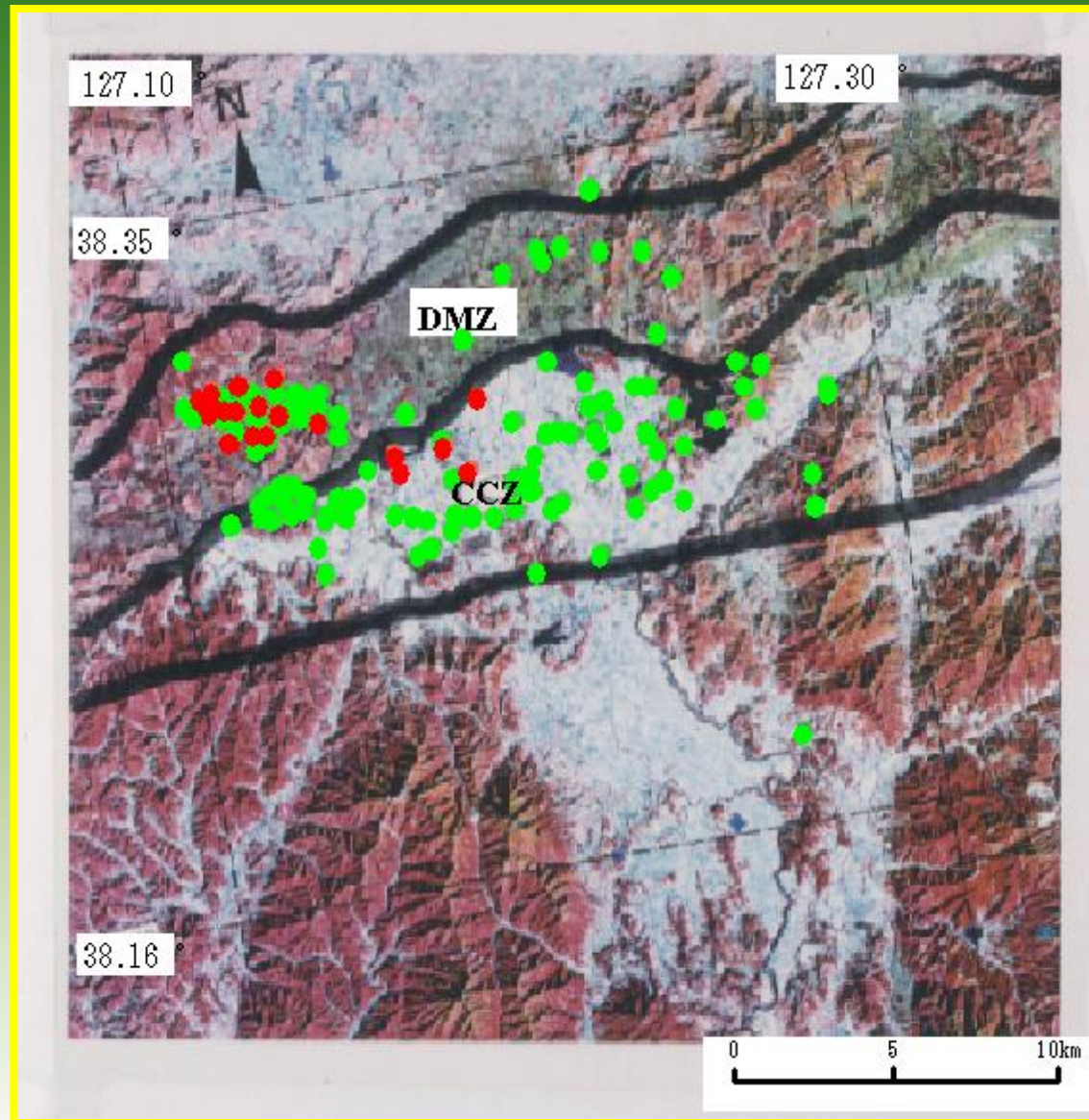
九州出水からの マナヅル春の渡り 衛星追跡の結果



朝鮮半島の非武装地帯が重要な中継地



越冬期のタンチョウもこの地を利用する

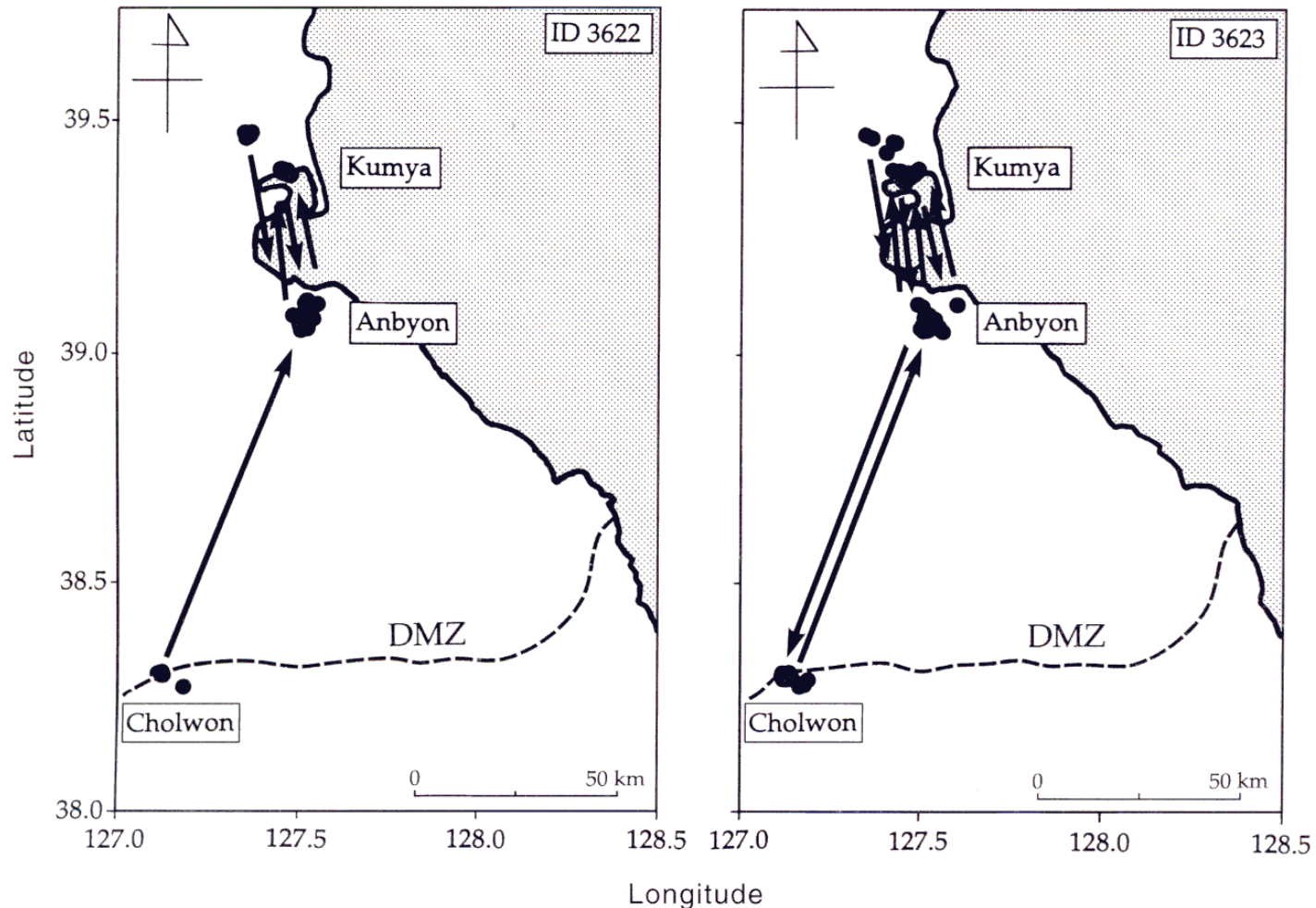


南北朝鮮を隔てる**非武装地帯**、国境は、渡り鳥の重要な渡来地になっている。

非武装地帯は、立ち入りが禁止され、経済開発が行なわれないため、鳥たちにとって**安住の地、楽園**になっているのだ。

しかし、やはり、渡り鳥に国境はない

冬の間、タンチョウは南北朝鮮の3地域を行き来する



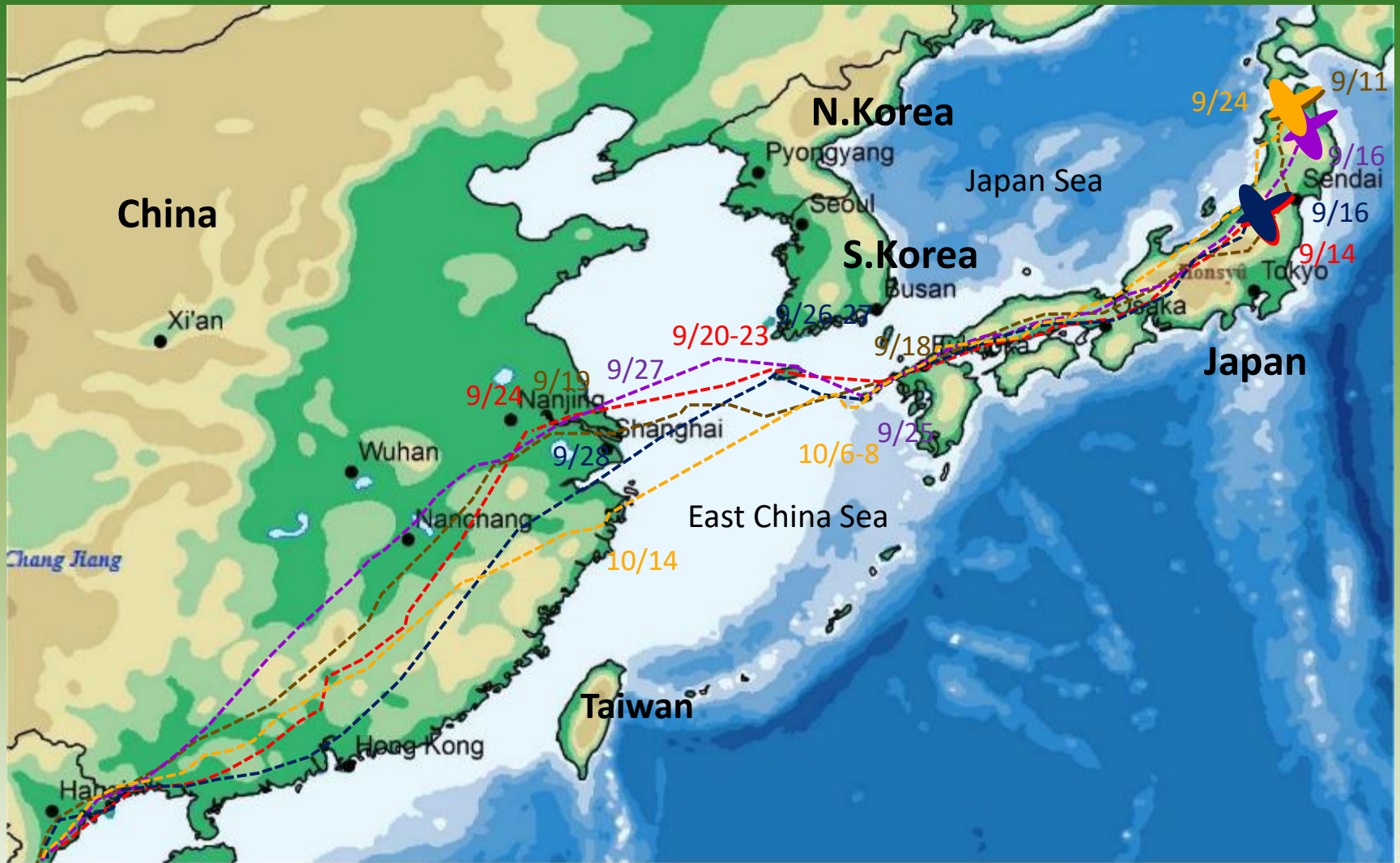
ハチクマの渡り、東アジア周遊の旅



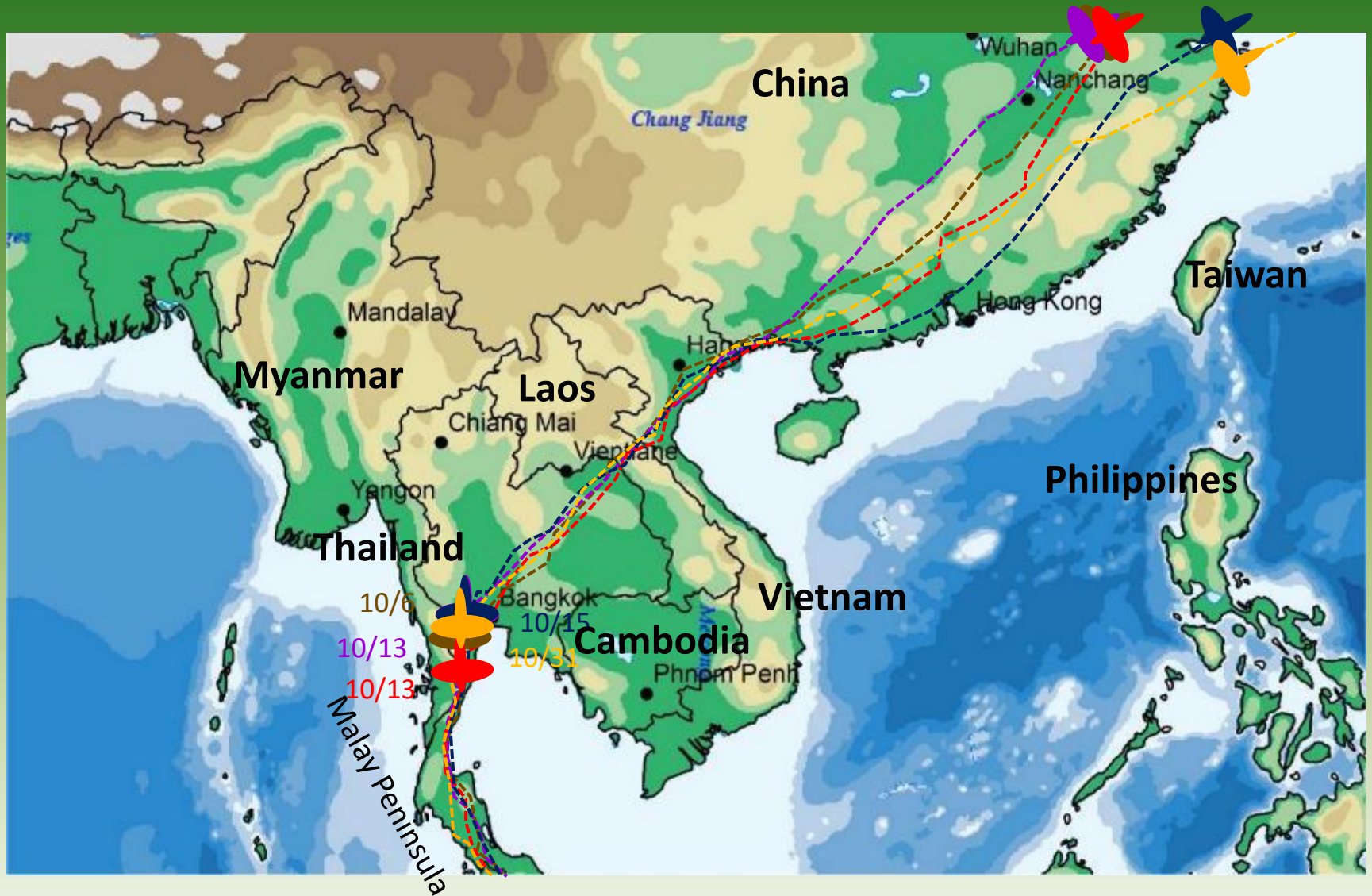
ハチの巣をひなにもってきたハチクマ。

撮影：中村照男

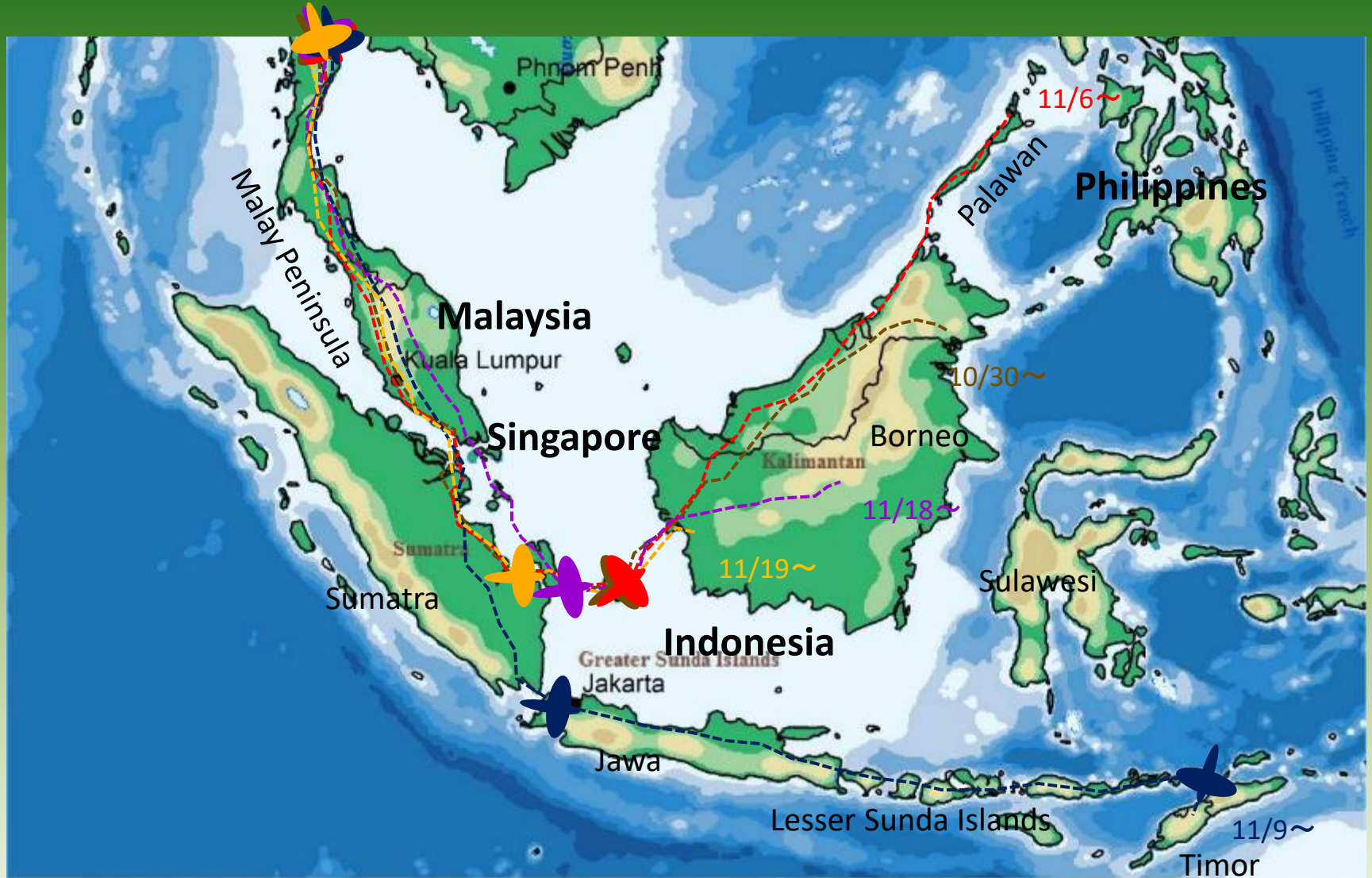
Fall migration, 5 individuals, 2009 part 1



Fall migration, 5 individuals, 2009 part 2



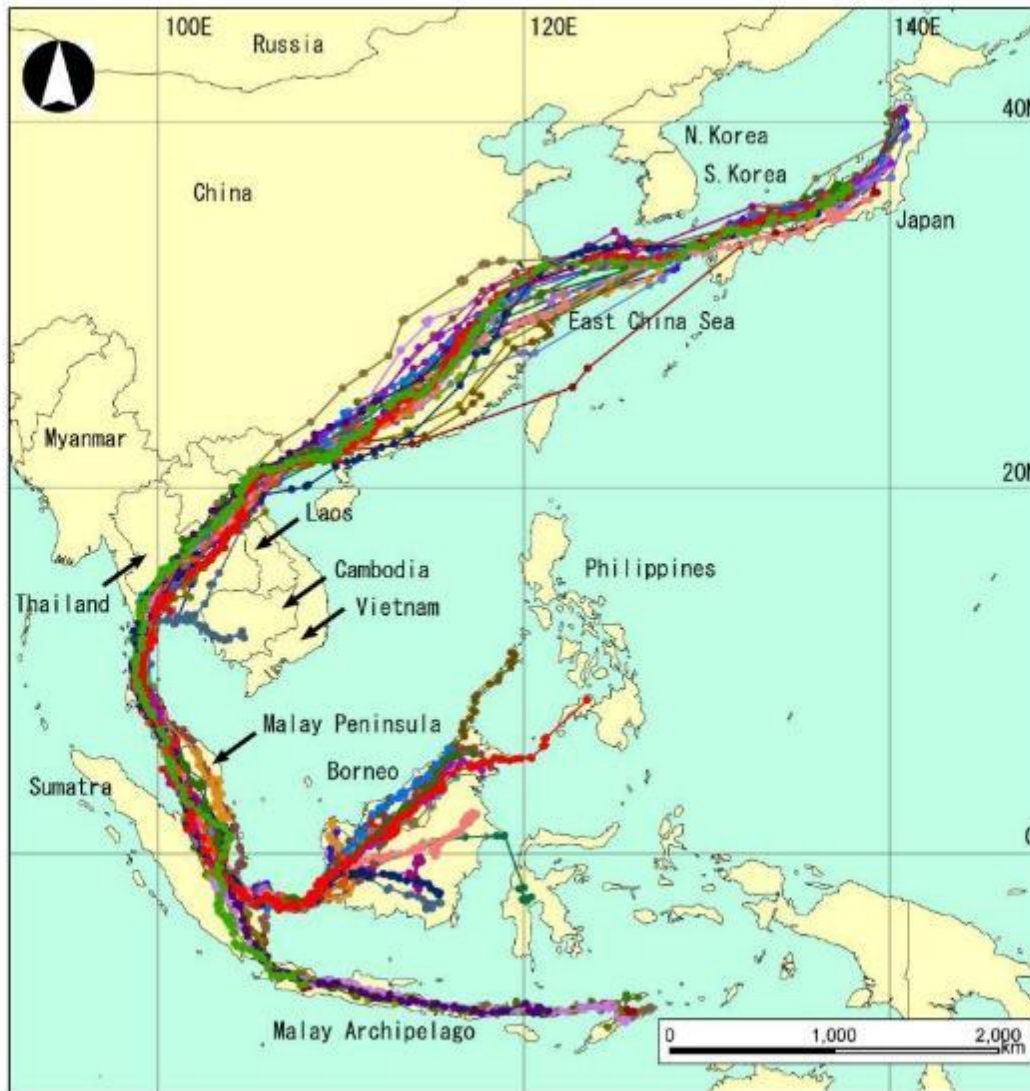
Fall migration, 5 individuals, 2009 part 3



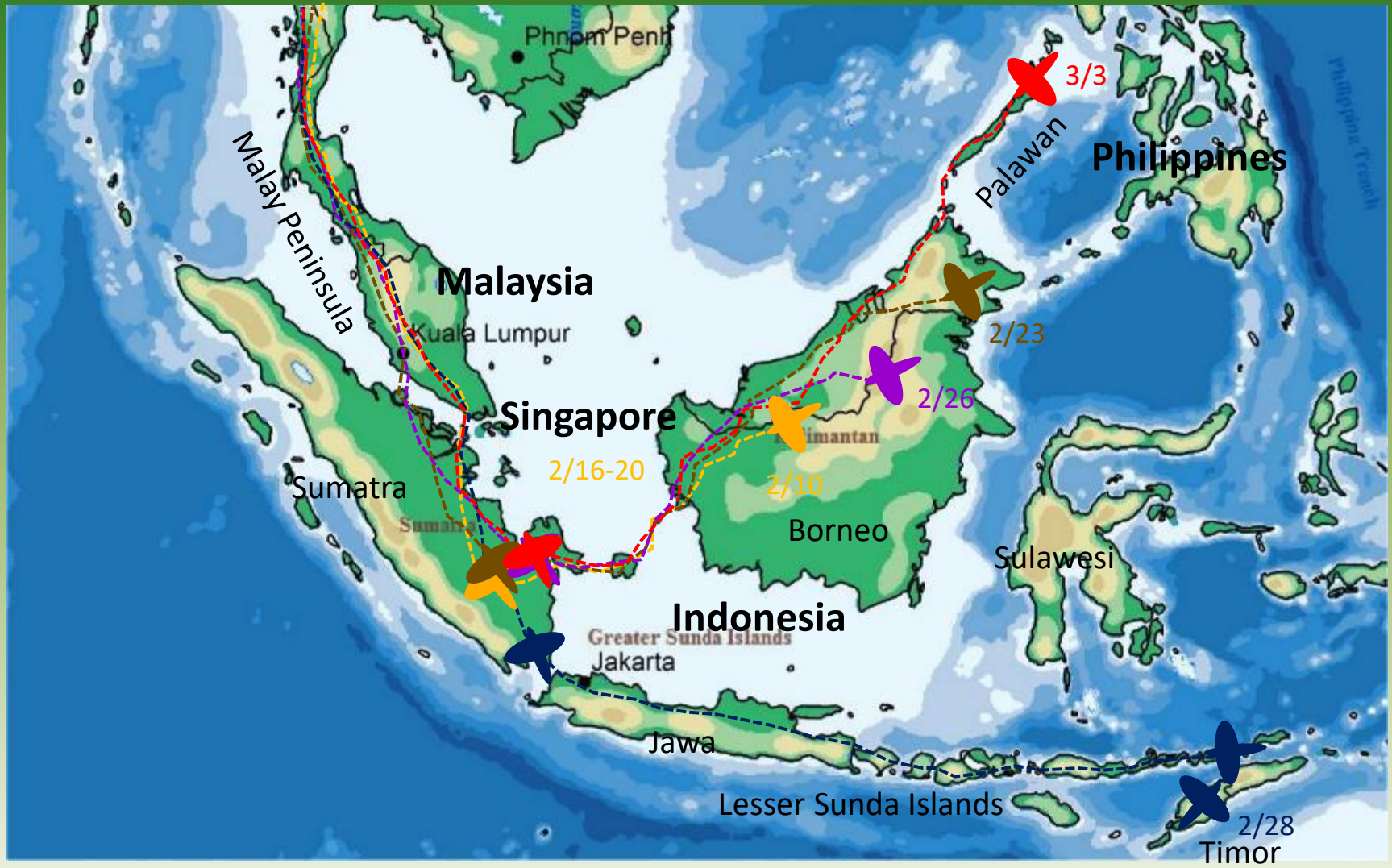
ハチクマの秋の渡り, 2003-2009



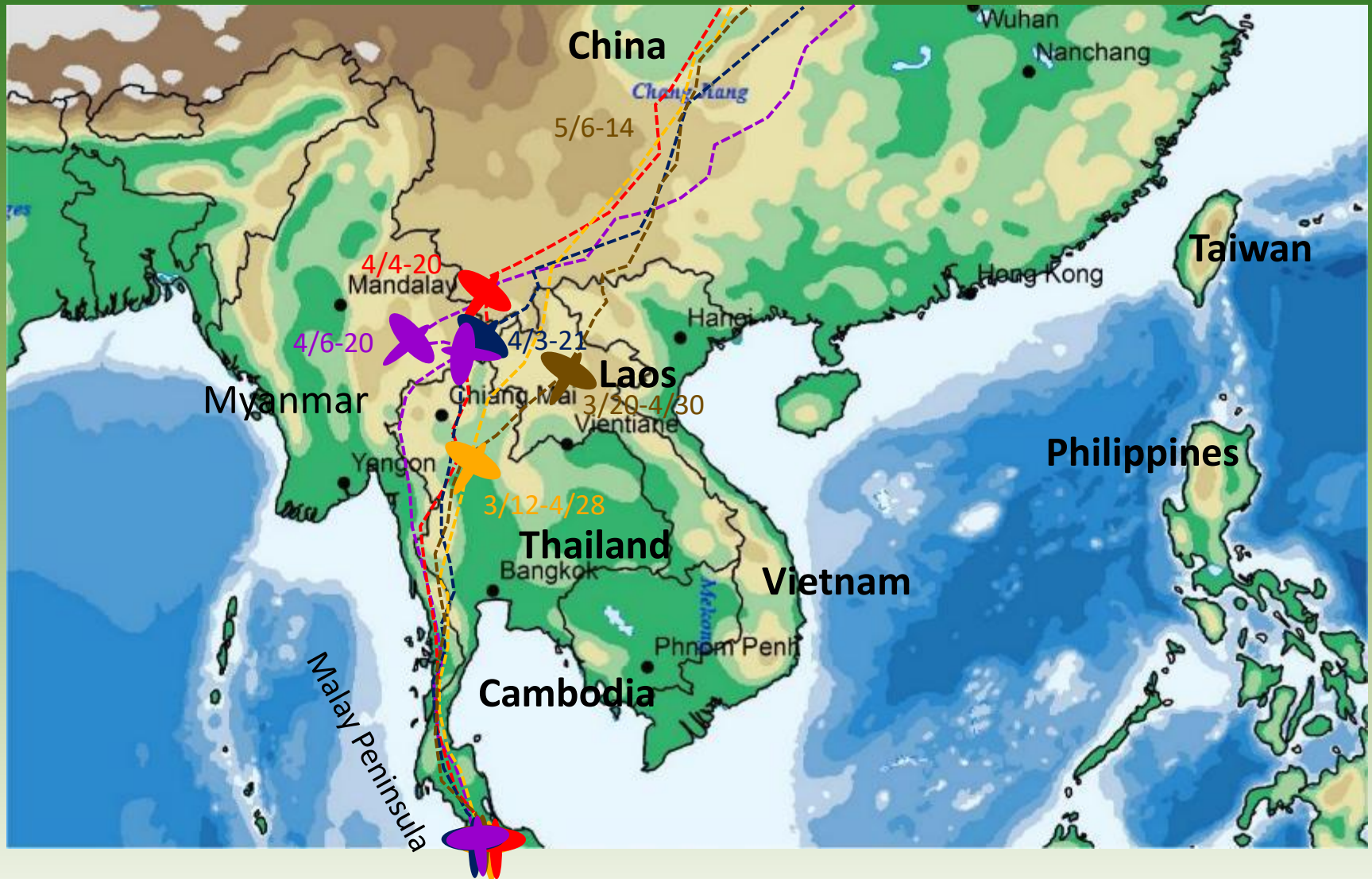
撮影: 中村照男



Spring migration, 5 individuals, 2010 part 1



Spring migration, 5 individuals, 2010 part 2



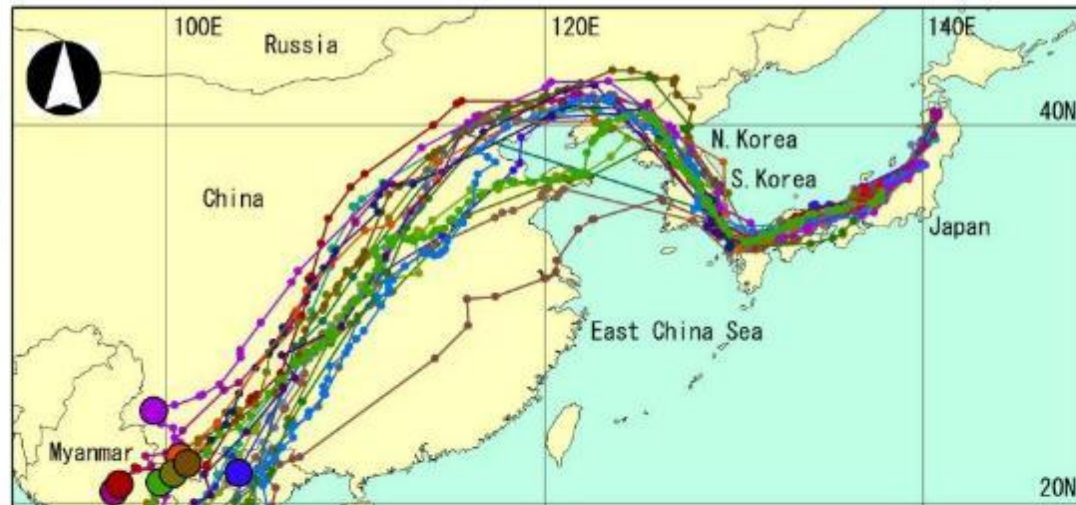
Spring migration, 5 individuals, 2010 part 3



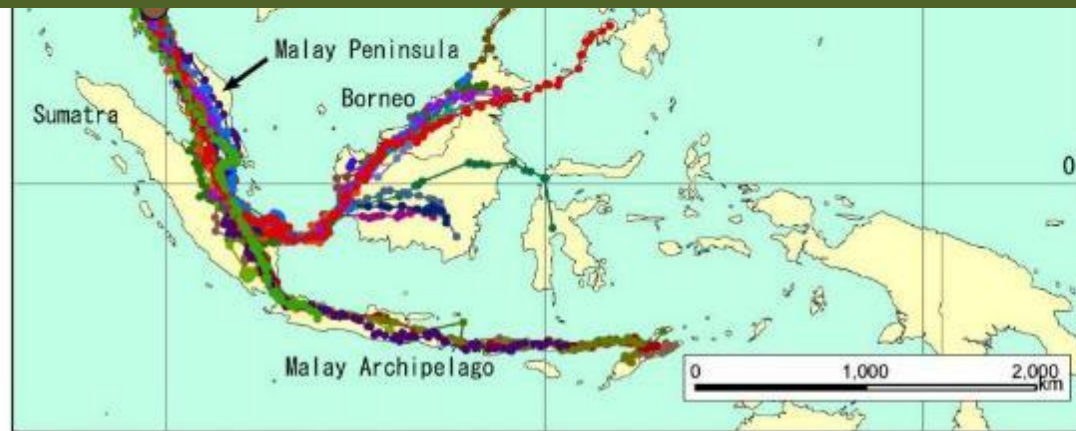
ハチクマ春の渡り、2004～2010



撮影: 中村照男



ハチクマは春秋の渡りを通じて、**東アジアのすべての国を**一つずつ通過していく。



●印は、1週間以上滞在したところ